



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
3/28 (月)	+ 100	+ 6,600	+ 6,700	国庫短期証券 発行・償還 (3M)	CP等買入 ▲ 200 コロナ対応特別支援 ▲ 241,800 補充供給 + 300	社債等買入 + 800 コロナ対応特別支援 + 287,700	米: 予算教書 (2022年10月-2023年9月) 英: 中銀総裁講演
3/29 (火)	+ 1,000	+ 6,000	+ 7,000				日: 日銀金融政策決定会合における主な意見 (3月17日・18日開催分)、完全失業率 (2月) 米: フィラデルフィア連銀総裁講演、消費者信頼感指数 (3月)
3/30 (水)	トシ	+ 14,000	+ 14,000	年度未諸払い 国債発行 (40年)			米: ADP雇用統計 (3月)、GDP確定値 (4Q) 欧: ユーロ圏景況感指数 (3月)、ユーロ圏消費者信頼感指数 (3月)
3/31 (木)	+ 600	+ 34,400	+ 35,000	年度未諸払い			「OPECプラス」閣僚級会合 日: 鉱工業生産 (前月比・前年比) (2月) 米: 新規失業保険申請件数 (26日終了週) 欧: ユーロ圏失業率 (2月)
4/1 (金)	+ 1,000	▲ 24,000	▲ 23,000	国債発行・償還 (2年)			日: 日銀短観 米: 雇用統計 (3月) 欧: ユーロ圏CPI

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初国債大量償還があり、先週末対比5兆9,700億円増加の539兆9,800億円から始まった。その後は23日の国庫短期証券買入オペ、24日の国債買入オペ、年度末特有の財政資金の支払等増加要因が多く、週末25日に同残高は547兆9,700億円(速報)まで増加した。

無担保コールON物加重平均金利は、地銀業態を中心に週を通して調達ニーズが非常に強く、 $\Delta 0.006\% \sim \Delta 0.004\%$ のレンジで推移した。ターム物では月内エンドの1W物を中心に主に $\Delta 0.005\% \sim \Delta 0.003\%$ の水準で出合いが見られた。調達ニーズの高まりから無担保コール市場残高は増加傾向となり、23日には1兆9,522億円と2001年4月以来10年11か月ぶりの大きさを記録した。

来週の主な予定は、国内では日銀金融政策決定会合における主な意見 (3月17・18日分) の公表 (29日) や日銀短観の公表 (1日) などがあり、海外では「OPECプラス」閣僚級会合 (31日) や米3月雇用統計の公表 (1日) などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	$\Delta 0.050 \sim 0.001$
1M	$\Delta 0.020 \sim 0.050$
2M	$\Delta 0.020 \sim 0.100$
3M	$0.000 \sim 0.130$
6M	$0.000 \sim 0.150$

<レポ>

足許GC取引は週初 $\Delta 0.08\%$ 近辺で始まり、週を通して $\Delta 0.095\% \sim \Delta 0.085\%$ で取引された。SC取引は2年425~434回債、5年137~150回債、10年333~365回債、20年164~179回債、30年69~73回債、40年9~14回債などに引合いが多く見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	$\Delta 0.050 \sim 0.000$
CP 3M	$\Delta 0.030 \sim 0.000$

<CP>

今週の入札発行総額は約7,300億円で、週間償還額 (約1兆3,000億円) を下回った。発行市場は、期越え物の発行が中心となり、電気、陸運、石油製品等にて大型発行が見られたものの、案件は少なく償還超となった。発行残高は先週末の26兆1,751億円から、24日時点では26兆2,163億円に小幅に増加した。発行レートは、新型コロナウイルス感染症対応金融支援特別オペの大企業向け等の民間債務担保分が期限通り、2022年3月末で終了することから、投資家の担保としてのCP保有ニーズが減退し、レートは上昇した。

来週の週間償還額は、月末日の大量償還 (約4兆4,300億円) を含む、約5兆2,000億円となっている。発行市場は、年度末日は一般事業法人による有利子負債の削減が見られ、大幅償還となると思われる。期明けからは、一般事業法人の発行再開が見込まれるものの、本格化は4月中旬以降を予想する。発行レートは、担保目的等の引受需要の剥落から、浅いマイナスレートから0%近辺での出合いを予想する。28日にCP等買入オペが5,000億円で実施される予定となっている。

<TDB>

3月24日の6M1068回債の入札は、最高落札利回り $\Delta 0.0769\%$ (前回債 $\Delta 0.0804\%$)、平均落札利回り $\Delta 0.0769\%$ (前回債 $\Delta 0.0823\%$) となり、前回より上昇した。3月25日の3M1069回債の入札は、最高落札利回り $\Delta 0.0800\%$ (前回債 $\Delta 0.0752\%$)、平均落札利回り $\Delta 0.0815\%$ (前回債 $\Delta 0.0774\%$) となった。来週は4月1日に3Mの入札がある。